

The best relationship

第二学年通信 No 65



～最高の仲間たち～

11月1日、今日は 教育推進月間

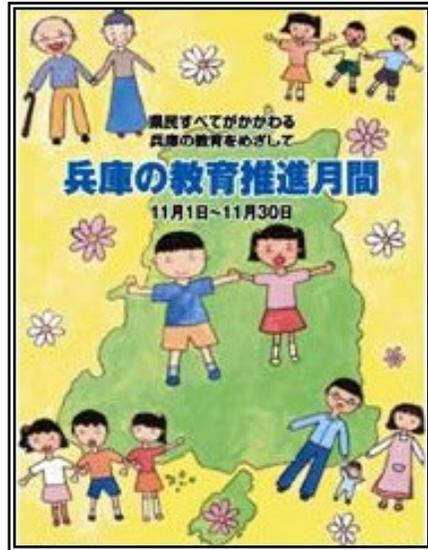
いくつ ○ がつきますか…?

☆ 学校での授業規律を見直そう ☆

- ①指示された準備物を用意すること 【○・○△・△】
- ②時間を守ること 【○・○△・△】
- ③切りかえを素早くすること 【○・○△・△】
- ④集中して話を聴くこと 【○・○△・△】

☆ 毎日の家庭学習を大切にしよう ☆

- ⑤毎日机に向かう習慣をつけること 【○・○△・△】
- ⑥再現できる勉強をすること 【○・○△・△】



→通信 No. 56

①	②	③	④	⑤	⑥

生徒会総務役員選挙 にむけて 73

いよいよ、君たち 73 回生がこの衣川中学校の前面にたつ生徒会の選挙をむかえます。

生徒会執行部（生徒会長はじめ、書記、各専門委員会委員長）の人たちには、入学してからいろいろな場面でお世話になってきました。みんなが気持ち良く中学校生活をおくるために、朝のあいさつ運動から各委員会の活動まで幅広く動いている様子は、みんなが目に見えているとおりです。何事もそうですが、一年間やり続けることは周りから見ている以上にたいへんなことです。思うようにいかなかったり、同じ執行部の生徒や同級生(全校生)と意見が食い違い悩んだり、放課後遅くまで残って明日の準備をしたり、……。

そんなときには、

『僕は、私は、こんな公約を掲げて執行部に入ったのに、本当にこれでいいのか?』と、自問自答したことでしょ。

学年集会やHRでいろんな話を先生から聞きました。生徒会執行部について、想いや考えのある人は、まず担任の先生に相談してみましよう。

『沖縄』を知ろう No14

沖縄県民から慕われる兵庫県の島田 毅さん(1)

なぜ、兵庫県と沖縄県なのか?

戦争末期に沖縄県知事になったのが、兵庫県出身の

島田 毅(しまだあきら)さんです。

島田 毅さんについては、沖縄慰霊の日(6月23日)

前日の通信No. 28でも少し触れましたが…



1901年、現在の神戸市須磨区で生まれ、旧制神戸二中(現兵庫県立兵庫高等学校)

時代に第一回全国中等学校野球大会に出場。

1945年1月、沖縄県知事の打診を受け、即受諾した。

島田 毅さんを心の懸け橋として、沖縄県本土復帰の年(1972年)に友愛提携調印式が行われ

両県の交流が始まりました。今年で46回目を迎える『友愛キャンプ』もその一つです。

毎年、夏は沖縄で、冬は兵庫で、交流キャンプを通して両県の自然・歴史・文化を学びます。

交流が始まった両県知事の友愛協定書

今年の『友愛キャンプ』のパンフレット

